

平成28年度第4回環境審議会

議事録

平成28年10月14日(金)

足立区役所 12階 会議室 1205B

(開催概要)

平成28年度第4回足立区環境審議会
議事録

会議名	平成28年度第4回足立区環境審議会		
開催年月日	平成28年10月14日		
開催場所	足立区役所南館12階会議室		
開催時間	午後14時30分から16時30分まで		
出席状況	委員現在数 15人 出席委員数 14人		
出席委員	田中 充	百田 真史	ぬかが 和子
	小泉 ひろし	馬場 信男	さの 智恵子
	戸苅 建作	瀬田 章弘	佐藤 強士
	茂木 福美	田邊 治代	長谷川 京子
	古地 八重子	石川 義夫	
事務局	環境部長、環境政策課長、生活環境保全課長、ごみ減量推進課長、足立清掃事務所長		
会議次第	別紙のとおり		
会議に付した議題	審議事項1 第三次足立区環境基本計画(案)について 審議事項2 足立区環境基本計画(平成27年度実績報告)について		

(会議経過と議事の要旨)

副会長	<p>田中会長が遅れているので、それまで私が進行させていただく。ただいまより平成28年度第4回足立区環境審議会を開会する。今回で4回目となり、だいぶ大詰めになってきた。今後パブコメに向かっていっそう詰めていくことになるので、ご協力をお願いしたい。</p> <p>まず、本日の出席委員を確認する。委員定数15名、後ほど到着する田中会長を含めると出席委員数14名で、本日の環境審議会が成立していることを報告する。</p> <p>本日の議事録署名人は、馬場信男委員、佐藤強士委員にお願いする。</p> <p>配付資料の確認について事務局にお願いする。</p>
事務局	<p>事前配付資料は、「環境審議会資料のつづり」「別添資料1(案)第三次足立区環境基本計画」「別添資料2 足立区環境基本計画平成27年度実績報告」「東京電機大学見学会のご案内」の4点である。</p> <p>また、本日席上には、本日の次第、A3の一覧、また「事前配付資料の訂正」が1枚、及び「平成28年度第3回環境審議会議事録」を配付した。</p> <p>配付資料の訂正とお詫びをさせていただきたい。「別添資料1 第三次足立区環境基本計画」の9ページ4行目、長期目標の2つ目、2050年までに、生物多様性が評価され、その後の記載が、「全され」となっているが、保全の保が抜けていたので「保全され」と訂正ください。また、46ページ10行目「(4)計画期間中に目指すべき姿」の「便利で快適な都市機能」は「便利で快適な都市機能が調和したまち」が正しいので訂正をお願いする。「別添資料2 平成27年度実績報告」7ページ、「川の種類によって基準が定められ、区内の8河川は、国・都によりC類型に指定されている」となっているが、C類型に指定されているのは荒川、中川、綾瀬川、隅田川の4河川なので、「川の種類によって基準が定められ、C類型の環境基準値はとつなげていただきたい。同ページ下から7行目も「圀川を除く7河川にてBODの基準を満たしている」は「圀川を除く7河川のBODが5以下であることが確認された」に訂正をお願いしたい。</p> <p>次に、事前配付の資料の中に、百田副会長のご厚意により11月11日に東京電機大学のキャンパス見学会を開催する。当日はこの審議会以外でも区の講座等を受講されている方も参加していただ</p>

	<p>く。参加希望の方は今月中に事務局にご連絡いただきたい。事務局からは以上である。</p>
副会長	<p>本日は審議事項と報告事項が一つずつある。本日の審議内容と今後のスケジュールについて、事務局より紹介をお願いします。</p>
事務局	<p>本日は、第三次足立区環境基本計画(案)についてご審議いただく。前回の意見を反映し、併せて庁内の調整を進めた結果を記載した。また指標についても、前は、数値が抜け落ちていたが、今回はすべて指標を入れた。</p> <p>今後の予定は、本日の審議会のご意見を反映させたくて、11月1日から30日までの1カ月間、区民の皆様にはパブリックコメントを実施する予定である。いただいた意見は次回12月の環境審議会に反映させて審議いただきたい。</p> <p>本日は報告事項として第二次足立区環境基本計画改定版の平成27年度の実績報告がある。これは第三次環境基本計画策定と密接にかかわるので、第三次環境基本計画をご審議いただく前に、平成27年度の実績報告をさせていただきます。</p>
副会長	<p>事務局提案のとおり、先に現行計画の27年度実績報告をお願いします。</p>
事務局	<p>議事の順番を変更して報告事項を先にやらせていただく。審議会資料6ページを開いていただきたい。</p> <p>平成27年度の指標の進捗状況を報告する。本来であれば昨年度で終わる計画であったが、1年間延ばして28年度に新たな目標値を作ってこの計画を推進中である。「既に目標を達成している(S)」は18指標ある。「着実に目標に向っている(A)」が11、「目標に近づいているが、目標達成には取組みの強化が必要(B)」が10、「数値が目標に近づいていない(C)」が4指標ある。そのほかに「経年変化を把握するための参考指標」としてCO₂の排出量等把握するものが4指標ある。</p> <p>区内の電気使用量は目標が22年度で13%に対して、27年度は既に14.8%の目標を達成している。ごみ処理量は5.7%の削減目標に対して5.2%ということで着実に近づいていると思う。大気中のダイオキシン類環境基準適合率は100%を堅持している。BODは5.0以下の環境基準を満たす河川ということで、目標は6河川だが7河川となっている。緑視率については15.8%の目標に対して14.8%なので若干足りない。身近な環境配慮行動に取り組む人は、目標10万人に対して10万1千人余に取り組んで</p>

いただいた。主な実績は以上である。

「足立区環境基本計画～平成27年度実績報告」にお目通しをいただければと思う。1ページは、第二次足立区環境基本計画は「日本で一番『地球にやさしいひとのまち』をめざして」ということで6つの柱で計画を推進しているので柱ごとの進捗を記載している。「1 地球温暖化・エネルギー対策」として、2ページにそれに対する指標の実績と目標値を記載している。これに続いて11ページまで、この6本の柱に対しての27年度実績とコメントを載せた。12ページは平成27年度取組み実績の評価を載せた。次ページA3の分野別指標一覧をご覧ください。例えば、14ページ地球温暖化・エネルギー対策の「1 区内の年間電気使用量」は策定時の22年度が28億1576万kWhで、28年度の目標値は24億4971万kWhと22年度比13%になっているが、27年度は23億9864万kWhで目標値をクリアしているのでSのニコちゃんマークで表示している。以下、「S」「A」「B」というかたちで表示している。

特にC評価は15ページをご覧ください。「健康・安全なくらしの確保」の「16 適正管理化学部質の環境への排出率」は計画時には0.18%であったので、28年度はその数値を維持しようということで同じ目標値を立てていたが、27年度は0.37で倍以上の開きが出ている。これはわかりやすく言うと、ガソリンに含まれるベンゼンやトルエン、キシレンはこの適正管理化学部質に値するが、これを100受け入れて90売ったとすると10は大気中に排出されてしまう。これを減らしていこうという規制の基準であって、当然低いほうがいいので大気中にどのくらい排出されたか監視を続けている。「24 生産緑地面積」についても計画策定時は36.91ha、28年度は36に抑えようということであったが、27年度は33.19haになった。これは相続等々で生産緑地が減っているためであるが、目標には達していない。そのほかに、C評価のものとしては、「43 環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21）の認証を取得した事業所数」が、計画策定時、117であったので28年度目標値は130としたが、事業所閉鎖等の理由で109と下がってしまった。「47 こどもエコクラブ登録団体数」についても、計画策定時は5団体、28年度目標値も5であったが27年度は2団体にとどまった。27年度の実績報告は以上である。

副会長	<p>現在作成中のものとは少し馴染まない部分もあるかと思うが、これまでの歩みと結果を概観する資料としてご説明いただいた。これについて何かご意見ご質問等があればいただきたい。</p> <p>では先に進めさせていただく。ここから田中会長に議事進行をお願いする。</p>
会 長	<p>続いて、審議事項「第三次足立区環境基本計画」に移る。別添資料1と参考資料としてA3縦長のもののご説明をお願いする。</p>
事務局	<p>前回審議会の意見と担当課との調整も踏まえて、第三次足立区環境基本計画(案)を調整させていただいた。前回から変更になった部分はすべて下線を付けた。また、A3の「取組み内容の一覧」は前回からの変更分を青で表示し、変更点をわかりやすくした。</p> <p>審議会資料1ページをお開きいただきたい。前回審議会意見への対応ということで、計画の構成や体裁について、3つの計画をわかりやすく明示して、3つの計画(柱)や施策の関連性や位置づけがわかるように工夫してはどうかというご意見をいただいた。</p> <p>まず目次をご覧ください。目次、「計画編」の第 章「柱1 地球温暖化・エネルギー対策」については、足立区地球温暖化対策実行計画を兼ねるものだということ表現している。同じく柱4は足立区生物多様性地域戦略を、柱5は足立区環境教育等行動計画を兼ねるものだということ、目次もわかりやすくした。</p> <p>3ページ、「第三次足立区環境基本計画」の中に足立区地球温暖化対策実行計画、足立区生物多様性地域戦略、足立区環境教育等行動計画の3つの計画が包含されており、それについては下のほうに、どういった法律でこれが定められているのかという注意書を明記した。</p> <p>27ページは、もともと20ページの柱1で地球温暖化対策実行計画を前のほうに持ってきていたが、削減目標のみここに入れた。この目標値を算出した結果については、巻末資料として78ページから「CO₂削減目標の考え方」ということで、資料として後ろに載せさせた。本編は説明のところを若干省いた。</p> <p>また、「章立てや本文中、見出し等で第三次足立区環境基本計画と何回も出てくるので整理してほしい」という要望があったので、例えば2ページで「計画の基本的事項」としているように、すべて「計画」または「本計画」と表記した。</p> <p>重点項目については、「重点6 不法投棄対策の推進」は「安全・安心で快適なくらし」より「循環型社会の構築」に位置づけたほう</p>

が適切ではないかというご意見をいただいた。不法投棄対策には、ごみの不法投棄対策ときれいなまちにするという2つの意味合いがあるので、33ページ柱2「排出ルールの周知徹底とごみ集積所の美化」の施策群2-3-の「具体的な取組み」の5番目に不法投棄対策の推進ということで、ごみの適正処理のところで防止を位置づける。また、38ページ、3-1-「土地・建物の適正な管理の推進」で「不法投棄予防対策の推進」に記載した。37ページ、「重点7 ビューティフルウィンドウズ運動の推進」の1つとして、「不法投棄の迅速な撤去」というかたちで、安全・安心のほうにも残すとともに、資源循環型社会の構築にも入れ込んだ。

また、資源ロスの削減が重点になっているが、その前提となるごみの削減が最も重要ということについては、31ページ、「施策群2-1 廃棄物減量推進」のリード文に「無駄になる資源の削減にも積極的に取組み、循環型社会を目指していきます」とし、資源ロス削減は当然やるということ、またリデュースに重点を置いた啓発や使い捨て型ライフスタイルの見直しといったかたちでも追記した。

併せて、施策の内容の中で、「地球温暖化についてキャッチフレーズをつけてほしい」という要望があったが、23ページ「身近な省エネ行動の促進」で、具体的な取組みの一つ目に「地球温暖化対策の必要性のわかりやすい啓発」ということで、そういったキャッチフレーズを考えながら、今後この計画を推進していきたいという一文を入れた。

次に、生物多様性の中で、「開発や外来種持ち込み等人間が影響を与えている点も意識してほしい」、また「生物多様性を分かりやすく示してほしい」という意見に対しては、44ページ施策群4-2のリード文に「私たちの暮らしは、生物のつながりで支えられていることや、人間の活動が生物多様性に影響を与えていることなどをわかりやすく示すことで」という文言を入れた。

「生物多様性のチェックリストを作ってはどうか」というご意見に対しては、チェックリストは計画には盛り込まないが、区民にわかりやすく説明していく中で、チェックリストを参考にして啓発していきたいと考えている。

行動指針については、「事業者としての区と職員の行動を分けてはどうか」というご意見があった。61ページの地球温暖化・エネルギー対策の効率的な利用について、各職員の率先行動と事業者と

しての率先行動と分けられるところは分けて記述した。

「記載されている中で実行するのに判断が必要なものや条件によって実施できないものもあり、すべての方に効果が出ないものも多いので記載方法を工夫してほしい」というご意見に対しては、60ページに「なお、家庭の取組みは住居形態や族構成生活スタイルなどにより異なります。この指針を参考にして、個々の事情に適した取組みを進めてください」という文言を入れた。

その他の意見として、「表紙に環境基本計画と環境保全行動指針が併記されているが、この二つが合体したことに伴って区民にアピールする副題がほしい」、「第三次足立区環境基本計画の下に包含する三つの計画を明記してはどうか」というご意見をいただいた。今回お配りしたものはまだ調整できていないが、名称に関しては審議会のご意見を参考にさせていただきたい。

続いて追加資料4ページの庁内担当課との協議によって変更した点だが、「区民が参加できる自然体験や生物と触れ合う機会の数」は指標としてとりづらいので、「生物と触れ合う事業の参加者」を指標に変更した。また、区内の生物調査参加者、あだち自然ガイドについては、情報収集の方法等未定の部分が多いので指標に至らない。「区民参加型生物調査の参加者数」として新たな指標とした。「生物多様性の保全に配慮した公園の数」というのは非常に曖昧なので、「樹木被覆率」に変更した。「環境学習のプログラム数」は「プログラムに参加して修了した数」に変更した。「区民・事業者として連携して区が実施した環境保全活動の数」は曖昧なので、「エコ活動ネットワーク足立の参加団体が実施した自主的な環境保全活動の数」に変更した。エコ活動ネットワーク足立については、新しい区の基本構想にある協創の母体にもっていければと考えている。

指標の定義や捉え方について、新たにこの環境基本計画案の82、83ページに載せた。今回は指標の目標数値が載っていなかったが、今回は57、58ページの指標一覧に2015年度の実績、2024年度の目標値を新たに加えた。その他の変更点、指標や削減目標数値の設定に関しては、地球温暖化・エネルギー対策の一番後ろに目標値の小数点を切り上げて載せた。

行動編の見直しに関しては、庁内との調整を踏まえ、前回の意見を取り入れたのでかなり下線が付いているが、より具体的な分かりやすいかたちになったと思う。

	<p>今後のスケジュールに関しては、本日の審議会を踏まえて20日頃にはパブリックコメント用資料を作り、庁内調整を踏まえて11月1日からパブリックコメントを実施し、12月9日の第5回環境審議会にはパブリックコメントを反映させた意見を出したいと考えている。年内に環境審議会の方針案を策定し、1月6日には区長への答申というかたちでお示しし、その後2月中、遅くとも年度内には計画を策定して区民に公表したいと考えている。</p> <p>私からの説明は以上である。</p>
会 長	<p>審議会資料として、前回いただいた意見を一覧化し対応表を付けていただいた。そのうえで計画書本文に反映した内容、表現等の一部修正あるいは指標を加えたものに対して下線を付けて整理した。私が見た限りでは概ね反映されていると思われるが、ご意見をいただきたい。今、事務局からあったように、11月1日からパブリックコメントに入りたいので、今日の審議は、いくなれば計画の原案、あるいは行動指針案を公表する前提の審議となる。まず、計画から見ていき、「指針編」、「資料編」と進みたい。</p> <p>感想だが、重厚というか複雑でなかなか難しいと思う。施策の体系と重点項目がある。14ページに政策の将来像と全体の体系がある。15ページに「ひと」「くらし」「まち」「区」という4つの視点を支える施策が5つあることが出ている。これは「協創力で作る 活力にあふれ 進化し続ける ひと・まち 足立」という将来像の環境編を担う位置づけになっている。以下、16ページから施策の体系が5つの柱ごとに整理されていて、その後ろに重点項目が出ている。20ページ以降は柱ごとのいわば各論になっており、その中にそれぞれの施策や目標・指標、実現のための施策が整理されているという構造になっている。このあと色やレイアウトでわかりやすくする工夫は必要かと思うが、この構造をご理解いただきたい。</p>
委 員	<p>58ページ、4-3「多様な生きものが暮らす自然環境の保全と創出」ということで、指標として「樹木被覆率」が挙げられている。指標を見てわかるものもあるが、「樹木被覆率」や「資源化率」のように専門用語が使われているのでわかりにくいものもある。補足があると指標がより身近に感じられると思う。</p>
会 長	<p>ほかのご意見も伺ってから事務局に整理していただきたい。</p> <p>57ページの循環型社会の構築の2-1の実績値と目標値は「kg」でいいのだろうか。</p>

事務局	単位は「g」が正しいので修正する。
委員	<p>15ページは「環境の視点から目指す姿」として将来像を描いているが、もっと具体的に環境における将来像のイメージがわくようなものにしてほしい。横浜も30年後の将来像を出しているが、日常的な言葉を使っておりイメージがつかみやすいので、これを参考にして、まとめ方、くくり方を工夫してはどうか。</p> <p>40ページ、生物多様性地域戦略の(3)では「今後は身近な公園などにおいても積極的に活用していこう」と書かれている。ところが、施策群4-1では「拠点施設と友好都市の自然を活用して自然や生物と触れ合う機会の充実を図る」となっている。拠点施設だけではないので「拠点施設はじめ各公園」等の記述を工夫してほしい。私は近くの公園でカブトムシの幼虫を発見したが、生物多様性に関しては拠点の公園だけではないと感じた。工夫してほしい。今後は基礎調査もやって、足立の生物多様性の全体像をつかむことを目指してほしい。</p>
会長	小泉委員、ぬかが委員から自然環境を含めていくつかご指摘いただいた。ぬかが委員の「イメージがわきやすいように」というご指摘は、全体像についてなのか、あるいは各4つの視点のそれぞれについてなのか、事務局で整理していただきたいと思う。
事務局	まず、「樹木被覆率」については、指標の定義を82、83ページに入れた。これは緑の基本計画でも使っている。
委員	区民は巻末を照らし合わせて見ないので、区民の方に見やすいように、同じページに説明を入れるとか補足があるとわかりやすいと思う。
事務局	もしくは、指標の定義のページに誘導する等の工夫をしていきたい。
委員	今の小泉委員の指摘で気がついたが、以前「樹木被覆率」を指標にしていたときに、5年に一度しか航空写真を撮らないので毎年の数値が出なくて苦労したため「緑視率」に変えた経緯がある。
事務局	<p>以前そういったご意見があったので、緑の基本計画の担当に確認したところ、毎年やるというので今回は「樹木被覆率」とした。</p> <p>15ページの将来像をイメージできるものに関してはなかなか難しい。この計画を啓発する際にイメージできるものを考えたい。</p>
委員	前の計画のときにそういうものを持ったことはなかったか。「こういう足立区はうれしくなる」ということが書いてあると、そこを目指して頑張ることがイメージできる。

事務局	現在の第二次環境基本計画改定版の中では、「地球にやさしいひとのまち」を「もったいないの心を持つひと」という定義をしている。
委員	あとで資料をお渡しするので、ぜひどこかで考えていただきたい。
会長	今の点は私も事務局と調整させていただく。15ページの全体像を変えるのは難しいので、15ページの下4つの視点もしくは5つの柱の中に、分かりやすくする工夫をしてはどうかと思った。
委員	例えば、行動指針の冒頭の総論の中で「30年後のこんな足立区を目指してみんなで取り組みます」といったことを入れてもいいのではないかと。要は、親しみを持てるものにしていただきたい。
事務局	冒頭に記載する案はいいアイデアだと考える。検討させていただく。 41ページの拠点施設については表現を整理したい。また、基礎調査については今後、場面ごとに改訂が必要になるので、そのときに考えさせていただきたい。
委員	35ページ「騒音については、一部、交通量の多い幹線道路沿いにおいて、環境基準を未達成の区間もありますが、年々改善の傾向にあります」とあるが、今どのような方法を考えているのだろうか。 40ページ「(3)人と自然のふれあい」に関して、公園の植物に名札がついているとよいと思う。 38ページ「河川水質浄化対策の推進」に関して、綾瀬川で船がヘドロを除去しているようだが、実態はどうなっているのか。
事務局	35ページの幹線道路の環境基準は、27年度実績の15ページにあるように、28年度目標値75に対して27年度が86.6なので環境基準を満たしている。環七等の特定の地点に関しては個別の状況があるので区としての対応は難しいが、全体として環境基準を満たしているところは増えている。 公園の木の名札については公園課と話し合いたい。大量にあるので予算的な問題もあると思う。 綾瀬川の船は護岸工事をしているようである。
委員	高齢者がとても増えているが、部屋の中にごみをため込んでいる人がいる。
事務局	粗大ごみは中まで取りに行くようにしている。これは引き続き継続していきたい。今回の計画の中でも盛り込んでいる。

会 長	<p>私も気がついたことを2、3申し上げたい。</p> <p>「緑」と「みどり」が混在している。使い分けるのであれば定義が必要ではないか。</p> <p>樹木の名札は、区民が自然に関心を持つよいきっかけになるので、できるところから始めるよう工夫していただきたい。</p> <p>「計画編」3ページに足立区の環境関連の計画体系がある。第三次足立区環境基本計画の上に法律と条例の体系があるが、この表記の仕方は工夫する必要があると思う。</p>
委 員	<p>21ページ、施策群1-2- 「太陽エネルギーの利用促進」に関して、太陽光発電のメリットや支援を分かりやすくしてほしい。</p>
会 長	<p>25ページに「太陽エネルギーの利用促進」の施策が整理されている。さらにこれに加えることがあるだろうか。</p>
委 員	<p>太陽光発電を入れるために試算したら、200万かかり10年で元をとれるという結果が出た。足立区は24万円補助がある。</p>
事務局	<p>区内事業者を使うと2割増しで28万5千円になる。</p>
事務局	<p>都のホームページの「ソーラー屋根台帳」では個人のシミュレーションができる。</p>
委 員	<p>やりたいと思う人がやれるようなわかりやすい説明やアピールがほしい。</p>
委 員	<p>区民と事業者の「協創」のビジョンがより見えるような啓発方法を考えていただきたい。</p> <p>57、58ページの数値目標はどういうところから出ているのか。</p>
会 長	<p>将来像の話は、先ほどのぬかが委員のご指摘と重なると思うので検討していただきたい。数値目標に関しては、例えば温暖化に関しては21ページに目標・指標を整理している。以下、それぞれの施策の柱ごとに目標・指標を置いている。「区内のエネルギー使用量を減らす」という目標に対して「省エネルギーに取り組んでいる人の数を増やす」を挙げているというようなものもあるが、方向性として目標を掲げ、その目標を具体的に近づけていくための目安としての指標という構成になっている。</p>
事務局	<p>実績値に対してこれまでの伸び率を掛けて2024年度の目標を出している。CO₂の排出量は2年後でなければわからないので、エネルギー対策の指標には使えないが、国や東京都に合わせて比較できる唯一の指標として出している。これを啓発でどのように使うかというのは課題であると考えている。</p>

委員	各自治体がこういう計画を立てている。この数値が周りの自治体に比べてどういう状況にあるのかという比較がないと、絶対値だけではよくわからない。
事務局	足立区を良くするための指標なので、他の区と統一して作るのはむずかしい。他区との比較は難しいが、中には比較できるものもある。同じようなものであれば、ごみの量がある。
委員	区内の一人当たりごみ量といったものはどうか。
事務局	中には比較できるものもあるので、必要であればそういったものを考えたい。
委員	比較指標があると、目指すものがわかりやすいと思う。
会長	<p>確かにごみの排出量、CO₂の排出量等幾つかの指標は他区でも算出しているが、57、58ページに整理している多くの指標は独自の目線で足立区らしさを出していると感じている。共通性のあるものは参考情報としてどこかにまとめることも考えられる。</p> <p>次は、59ページ以降「行動指標」から「資料編」まで、お気づきの点等あればお願いしたい。</p>
委員	31ページ、資源化の促進のなかで食品ロスについて詳しく書かれていて分かりやすいが、資源化の拡充という部分では27年度実績はBであった。特に古紙をきちんと分別するように引き続き啓発してほしい。名刺ぐらいの大きさがあれば古紙として資源化できることも明記してほしい。
会長	<p>60ページ「区民・事業者・区の行動指針」の冒頭に、将来像をわかりやすくかみくだいたかたちで記載するという提案があった。ぜひ工夫していただきたい。行動指針は条例に基づくものであるから、「位置づけ」や「体系図」を工夫してはどうか。</p> <p>行動による効果として省エネルギーの効果が整理されている。区民の行動の累積が区全体の効果に結びつくとか、水の出しっ放しをやめるとこのぐらい節水できるといった工夫ができそうである。</p>
委員	文章ばかりなのでイラストもほしい。「ごみ1g」とあってもイメージがわからない。
委員	「計画編」「行動編」「資料編」の扉が3色に分かれているので、目次も3色に分けてはどうか。
副会長	これをどうやって見せていくかは今後の話で、現時点ではここに凝縮して情報が載っているとご理解いただければよいと思う。私も一度写真を載せてほしいと申し上げたことがあるが、ここからブレークダウンして、ごみについてのパンフレットを作るというかたち

	で区民に届くと思う。
委員	73ページ「区民の行動」で、区民が楽しく自然観察できるような雰囲気も必要だと思う。生物園やビオトープなどでは鵜が小魚をみんな食べてしまうし、鯉しかいないように見える。
会長	施策の方にそういう趣旨が書かれていればいいが、具体的な問題として担当課に伝えたい。
委員	61ページ「区民の行動」で、「省エネ設備・機器の導入」や「住宅の建築・改築の際に省エネ化する」について、私も4年前に新築したときにやりたかったが費用がかかりすぎてできないことが多かった。
事務局	新築の場合は該当しないと思うが、東京都で家庭のエコ診断をやっている。新築の際にアドバイスできる窓口や機会について考えてみたい。
委員	節水について、68ページ「区の率先行動」と「区民の行動」に書かれている。最近、公共施設の蛇口から必要量しか水が出ない。ここでは水の使い方の工夫や節水機器の導入等により使用量を減らすとなっているが、省エネという観点から言うと家電の買い換えの際に省エネ性能の高い製品を選ぶとなっている。洗濯機をはじめとして節水・省エネタイプを選ぶ意識が大切なので、61ページにもそういう観点を盛り込んでほしい。節水タイプのものにも助成できるようになればよいと思う。
会長	節水のほうは5つ星等の仕組みはないのか。
委員	私たちはイベントのときに、「行動編」61ページに書かれているようなエアコンの取扱い、67ページのマイバッグ持参等といったことのところに絵を入れて皆さんにお見せしてアピールをしている。11月12、13日でフードドライブを行うが、ごみ推進課の方に協力をいただいてこれから準備をする。そういった中で、一人でも多くの方に知っていただきたくチラシも出している。8月頃から毎月出している。興味のある方は11月に入ったら協力をお願いしたい。そうした行動を一人一人がしていかなければ、いろいろたわわれていてもなかなか実践できないというのが私の感想である。
委員	68ページ「中水」とは何か。 71ページ「区民の行動」で「空き缶やたばこの吸い殻などのポイ捨てをしない」とあるが、周辺の吸い殻を毎日拾っても切りがない。そういう行動をやめさせるためにもっといい言葉はないだろう

	か。
事務局	「中水」は浄化の度合いが緩いので飲めないが、トイレの洗浄水等に使われる。
委員	前回もわかるようにとか「見える化」といった話があったが、63ページあたりに具体例が出ているのでわかりやすくなった。エアコン等は10年前の電気使用量と比較することで、より具体的に分かりやすくなると思う。
委員	フードドライブを何回かやったが、前回の情報提供が遅かった。
会長	ぜひ気をつけてイベントの時期に合わせて情報提供してほしい。区民の皆さんに行動の方向性を理解してもらい、実際の行動に定着させるための工夫が必要だという意見が出ている。節約、金額あるいは効果といったことをわかりやすく出すといったことをきめ細かく工夫したい。家電の電気消費量の経年変化の情報も重要なので載せてはどうか。ごみやたばこのポイ捨てに関する条例の周知や意識啓発を図ってはどうか。区民に呼び掛けの趣旨を理解して、行動してもらうための整理をしたい。
委員	家電の電気消費量の経年変化に関しては、冷蔵庫は月々2000円ぐらいの効果があるので最もインセンティブがあると思う。
会長	「もったいない」と言って古い家電を使い続けることは、エネルギーをたくさん使うので逆に「もったいない」。
委員	行動指針は素晴らしいが、行動指針を実際に動かすための施策との関連はどうなっているのか。
会長	「計画編」で施策を整理し、区として事業者や区民の行動を促したり、普及啓発をうたったりしている。施策の部分とリンクしていることが前提だが、そこをもう少し強めたほうがいいのではないかなと思う。区の条例のPRや補助制度の情報提供をしっかりとっていくことが大事である。
委員	事業者が行動指針を実際にやろうとすると費用が発生する。日々の経済活動に反する面も出てくるが、区はどういうサポートをするのか。環境に対してまじめに取り組んだ事業者が報われる社会を作っていただきたい。
会長	新築時の初期投資が大変だという話もあった。区はさまざまな補助制度を工夫していると思うが、それが十分に活用されるような情報提供も大切だと思う。区が十分に提供できない場合は、都や省エネ団体の仕組みを紹介するといったかたちで、区が窓口になって区民の行動を促す仕組みを考えていきたい。

	<p>あと2週間でパブリックコメントになる。今日のご意見を反映したかたちで加筆修正してパブリックコメントに移りたい。先ほどもスケジュールの紹介があったが、パブリックコメント終了後12月9日にまとめの審議会を開催する。その段階でパブリックコメントを踏まえて各委員の意見を伺ったあとで確定していく。区長への答申は1月初旬に行う。この場で言いそびれたご意見は19日ぐらいまでにお出しいただきたい。</p> <p>議事次第「その他」に関して、委員あるいは事務局から何かあるだろうか。</p>
事務局	<p>本日のご意見をもとに11月中旬にパブリックコメントを実施させていただく。次回は12月9日に審議会を開きたい。年内には最終的な答申案を作成し1月6日に答申を提出したい。</p>
会長	<p>それでは、平成28年度第4回足立区環境審議会を終了する。</p>

(会議録署名)

平成 28 年度第 4 回環境審議会会議録記録署名員
(平成 28 年 10 月 14 日 開催)

会 長	田 中 亮
署 名 委 員	馬 島 信 男
署 名 委 員	佐 藤 強 士